

平成 25 年度 事業シート

第5次廿日市市総合計画（後期基本計画）

基 本 目 標 2 新たな魅力と活力を創出し、交流するはつかいち
政 策 目 標 1 多様な機能の発揮によって、出会いとにぎわいがあるまちに
重 点 的 取 組 3 地域の特性を生かした拠点をつくり、つなげる

担当課名		分権政策部 経営政策課	
予算科目目	会計	01	一般会計
	款	02	総務費
	項	01	総務管理費
	目	06	企画費

事業名	公共施設調査事業	事業開始年度	平成 22 年度
	大野支所周辺市有地にぎわい創出調査業務	根拠法令 条例 個別計画 等	—

1 事業の目的、意図

目的	【対象】誰の(何の)ために	【目指す姿・意図】(いつまでに、どういう状態に)
	市民、来訪者、地元の事業者	地域の賑わい拠点をつくることにより、産業や交流が活性化する。

2 事業の実施主体・関係団体・役割

実施主体	関係団体(パートナー)	事業実施に係る市役所(職員)の役割
市	国・県担当部署 各種団体	国・県・コミュニティ・各種団体との協議・調整 業務委託

3 平成 25 年度 決算（事業の内容・コスト情報・目標到達見込）

実施した事業の内容（活動実績）

○大野一丁目地区内賑わい施設検討業務

大野支所敷地を活用した一体型の道の駅の整備可能性について協議・検討するため、計画交通量を基にした交通処理について検討し、一体型道の駅の整備に向けた条件整理や課題等を明らかにすることを目的として実施した。

○大野支所周辺にぎわい創出に係る事業性評価検討業務

地域の商工関連団体等と連携し、物産販売等を核とした実験イベント事業を実施。

大野支所を含む周辺市有地におけるにぎわい創出拠点の整備に向けた評価・検証を行った。

開催日：平成25年8月3日（土）・4日（日）の2日間

来場者：約2,000人（2日間）

参加事業者：35事業者

実施調査（1）量的調査（来場車両等）

（2）出店者調査（アンケート調査・ヒアリング調査）

（3）来場者アンケート

【参考】 H22～H23 大野支所検討委員会の開催→検討委員会から報告書提出

H24 大野支所敷地における地域物産販売の可能性調査・施策提言（業務委託）

大野一丁目地区内賑わい施設検討（業務委託）

・事業費関連

【歳出】

大野一丁目地区内賑わい施設検討業務 493,500 円

大野支所周辺にぎわい創出に係る事業性評価検討業務 2,181,900 円

コスト情報（円）

項 目		平成 24 年度決算	平成 25 年度決算①	①のうちH24から繰越	H25からH26へ繰越
財源内訳	直接事業費 A	4,845,000	2,675,400		
	国庫支出金				
	県支出金				
	借入金（市債）				
	その他(使用料など)				
	市（市税など）	4,845,000	2,675,400		
人件費(按分) B		0.60 人 5,263,200	0.50 人 4,243,000		
総事業費(A+B)		10,108,200	6,918,400		
ト換算 単位 ①	人口(4月1日現在)	118,000 人	117,680 人		
	市民1人当たり	86	59		
②					

到達目標

活 動 及 び 成 果 指 標		単位	H24 実績値	H25 目標値	H25 実績値	H27 目標値	備考
活動成果	各種団体との調整	件		1	1		
	モデル事業の実施	件		1	1		
	賑わい拠点整備の方針決定	件		1		1	